

第2期 定時株主総会

UACJ

報告事項

第2期 事業報告

**平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで**

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

(1) 事業の経過及びその成果

日本の経済情勢

上半期

消費税増税後の個人消費の落ち込みが予想以上

マイナス成長

下半期

- 個人消費の低迷にも底入れ感
- 米国をはじめとした海外市場の回復による輸出の増加
- 原油価格下落によるコスト低減等

徐々に回復傾向

(1) 事業の経過及びその成果

アルミニウム圧延業界

缶材	➡	微増
箔地	➡	増加
厚板	➡	増加
輸出	➡	増加

当期の全体の数量は、前期比で増加

平成22年度以来4年ぶりに200万トンを超える出荷

(1) 事業の経過及びその成果

**UACJグループの将来ビジョン
平成26年3月31日に発表**

**「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」
の実現へ**

**統合効果の実現やグローバル展開など
様々な施策を着実に実施**

(1) 事業の経過及びその成果

UACJグループ中期経営計画 「Global Step I」 平成26年12月に策定

- 「将来ビジョン」に掲げた内容を具体的に各事業へ展開
- 環境変化に強い収益基盤の確立
- 持続的な成長に向けた取り組み

鋭意推進

当期の連結業績

科目	金額
売上高	5,725億41百万円
営業利益	236億79百万円
経常利益	213億37百万円

当期の連結業績 当期純利益

科目	金額
当期純利益	86億49百万円

当社単独の業績

科目	金額
売上高	2,869億53百万円
営業利益	128億79百万円
経常利益	138億50百万円

当社単独の業績 当期純利益

科目	金額
当期純利益	87億72百万円

期末配当

1株につき3円

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業

伸銅品事業

加工品・関連事業

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業

- Tri-Arrows Aluminum Inc.の製造委託先である Logan Aluminum Inc.での設備故障
- IT 関連材、液晶製造装置関連やLNG 船用厚板の伸長
- 本経営統合による事業規模の拡大等

売上高	4,519億 9百万円
営業利益	232億61百万円

企業集団のセグメント情報

伸銅品事業

- 業務用エアコンの需要は前年同水準で推移
- 家庭用エアコンの需要は、消費税増税後の消費落ち込みに加え、昨年夏の天候不順の影響で出荷台数が不調に推移
- 空調用銅管は、夏場以降の荷動きは低調であったが、当期前半の需要は堅調に推移

売上高	505億96百万円
営業利益	10億42百万円

企業集団のセグメント情報

加工品・関連事業

- IT関連材や北米向けを中心とした自動車用部品が堅調に推移

売上高	1,616億39百万円
営業利益	45億64百万円

(2) 設備投資及び資金調達の状況

(2) 設備投資及び資金調達の状況

設備投資

タイ国 板圧延工場の建設 第二期分(鑄造工程からの一貫生産)の投資
生産設備の据え付け、試運転実施を促進

国内 国内製造拠点の品種集約化に伴う設備投資、
劣化更新投資等

当社グループ全体(工事ベース)

総額約465億円

当社単独(工事ベース)

総額約176億円

資金調達

所要資金は自己資金及び借入金等によって手当

(3) 対処すべき課題

(3) 対処すべき課題

日本の経済情勢

- **金融緩和政策の継続**
- **円安、アベノミクス効果**
- **消費税増税の先送り**
- **原油価格の下落によるエネルギー価格の低下等**

景気は回復基調が続く見込み

(3) 対処すべき課題

日本の経済情勢

- **円安と消費税増税による物価上昇に伴う
実質所得の減少**
- **個人消費の回復のもたつき等**

**回復のペースは緩やかにとどまり、
今後の見通しは不透明**

(3) 対処すべき課題

日本の経済情勢

- **少子高齢化の進行**
- **顧客の生産拠点の海外移転等**

**需要構造の変化が進んでおり、
中長期的に国内の事業環境は厳しいものと想定**

(3) 対処すべき課題

世界の経済情勢

- **中東情勢などの地政学的リスクが依然存在**
- **中国の成長鈍化や資源市況の低迷による資源国の落ち込み**
- **米国は回復基調**

全体としては今後も緩やかな拡大が継続

UACJグループの将来ビジョン

「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現へ

2015年度から2017年度（平成27年度から平成29年度）

UACJグループ中期経営計画 「Global Step I」

平成26年12月10日に発表

中期経営計画に掲げた内容を具体的に各事業へ展開し、
環境変化に強い収益基盤の確立と持続的な成長に取り組む

UACJグループの将来ビジョン

重点方針

1

自動車を中心とした輸送分野、エネルギー分野などの成長製品の拡大とアジアを中心とした成長地域の事業強化

2

各事業の最適生産体制の構築及び技術融合の推進

3

先端基礎研究の強化と豊富な蓄積技術の活用による新技術・新製品の開発

UACJグループの将来ビジョン

- 国内外の事業をより強固なものへ
- 世界の競合との競争に打ち勝つ
- 継続的な成長の実現

企業価値の更なる向上を図る

(3) 対処すべき課題

**CSRへの取り組みにより、
ステークホルダーの皆様から信頼される
企業グループであり続けたい**

- **社会に役立つ安全な製品や技術、サービスを
継続的に創出・提供し、お客様や取引先の信頼を獲得**
- **健全な企業活動を通じて、株主の皆様、
従業員や地域社会などに貢献**

(3) 対処すべき課題

グローバルカンパニーとしての社会的責任

- **経営理念、行動規範の実践を通じた企業倫理の確立**
- **コンプライアンス及びリスク管理の徹底等**

コーポレート・ガバナンスを実践

(3) 対処すべき課題

グローバルカンパニーとしての社会的責任

- **地球環境の保全**
- **資源再生利用の推進等**

サステナビリティに取り組む

**今後とも、良き企業市民として、
持続可能な社会の構築に
取り組んでまいります。
株主の皆様におかれましては、
今後ともなお一層の
ご指導、ご鞭撻を賜わりますよう、
よろしくお願い申し上げます。**

1. 企業集団の現況に関する事項

- (4) 財産及び損益の状況の推移
- (5) 重要な子会社の状況
- (6) 主要な事業内容
- (7) 主要な営業所及び工場
- (8) 従業員の状況
- (9) 主要な借入先

お手許の招集ご通知 9 ページから 13 ページに
記載の通りでございます

2. 会社の株式に関する事項

3. 会社役員に関する事項

4. 会計監査人の状況

5. 会社の体制及び方針に関する事項

**お手許の招集ご通知 14 ページから 21 ページに
記載の通りでございます**

連 結 貸 借 对 照 表
連 結 損 益 計 算 書
連 結 株 主 資 本 等 變 動 計 算 書
貸 借 对 照 表
損 益 計 算 書
株 主 資 本 等 變 動 計 算 書

連結貸借対照表

平成27年3月31日現在

連結貸借対照表（資産の部）

科目	金額
流動資産	2,698億89百万円
固定資産	4,080億63百万円
資産合計	6,779億52百万円

連結貸借対照表（負債の部）

科目	金額
流動負債	2,878億84百万円
固定負債	2,029億32百万円
負債合計	4,908億16百万円

連結貸借対照表（純資産の部）

科目	金額
資本金	450億円
資本剰余金	729億 1百万円
利益剰余金	335億64百万円
自己株式	△1億78百万円
株 主 資 本 合 計	1,512億87百万円
その他の包括利益累計額	210億18百万円
少 数 株 主 持 分	148億31百万円
純資産合計	1,871億36百万円

お手許の招集ご通知22ページをご参照ください

連結損益計算書

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

連結損益計算書

科目	金額
売上高	5,725億41百万円
営業利益	236億79百万円
経常利益	213億37百万円
当期純利益	86億49百万円

お手許の招集ご通知23ページをご参照ください

連結株主資本等変動計算書

**平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで**

連結株主資本等変動計算書

科目	金額
平成26年4月1日純資産残高	1,681億40百万円
剰余金の配当	△38億52百万円
当期純利益	86億49百万円
自己株式の取得	△96百万円
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	161億97百万円
連結会計年度中の変動額合計	208億98百万円
平成27年3月31日純資産残高	1,871億36百万円

お手許の招集ご通知24ページをご参照ください

連結注記表

**お手許の招集ご通知25ページから33ページに
記載の通りでございます**

**貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
個 別 注 記 表**

**お手許の招集ご通知 34 ページから 45 ページに
記載の通りでございます**

第2期 定時株主総会

UACJ